



# 委員会から報告します

各委員会では付託された議案及び請願について審査しました。主な質疑について報告します。

(なお、本文は各委員会委員長が執筆したものを編集し、掲載しております)

## 総務委員会

委員長 三田部恒明  
副委員長 須藤邦男  
委員 石川克正、仲田均、田嶋俊和、今村雄男

**問** 定員適正化計画と現在の進行状況及び分析について。

**答** 適正化計画では、平成18年度から27年度までの10年間で229名削減し職員数を1098人とする計画ですが、3カ年で138人の削減で既に約6割が達成されています。定年退職のほか、勸奨退職者があるが、定年退職の前倒しであり、特に問題はありませぬ。毎年20人を基礎として採用しており、職員構成もよい方向になります。

**問** 地方交付税のうち合併算定替えが占める割合は？

**答** 普通交付税42億6269万円のうち16億8594万円です。合併後5年間で毎年2億5千万円が算入されます。特別交付金については3カ年で約7億1500万円、平成18年度50%、19年度30%、20年度20%です。

**問** 市債発行のうち、民間資金の引き受け先選定について。

**答** 金融機関から10社中9社から見積りを徴取し選定します。一番

低い利率が1・05%。現在借りている市債で高金利なものは昭和59年の利率7・1%ですが、本年9月30日で償還が終わります。

**問** 臨時財政対策債は1・3%と高い。財務省以外での借入は？

**答** 民間資金は10年、財務省資金は20年償還で、14億円の多額な借り入れについては、単年度ごとの負担軽減するため政府資金の選択となりました。

**問** 新庁舎建設準備事業内容は？

**答** 関連法規、基準等にかかわる制約事項につき検討するもので、今後の新庁舎建設にかかわる課題等を整理します。基礎調査委託料



スマートインターチェンジ調査予定箇所

## 福祉文教委員会

委員長 利江 睦一子  
副委員長 加藤 健寿博  
委員 吉田 幸太郎、清水 矢野、清水 高、清水 加藤、新井 加藤

**問** 文化振興事業で予算額に対して支出が少なかったのはなぜか。

**答** 大きな部分では、公共ホール活性化支援事業及び本物の舞台芸術体験事業を委託事業として行っていますが、この委託事業費が節約できたことによるものです。

**問** 奨学資金支給事業において、何人の希望者があり、実際に支給されなかったのは何人か。

**答** 平成19年度については、31人の申請があり、条例に従い、選考委員会で審査を行った結果、22人という答申をいただきました。

**問** 岡部学校給食センターはどのような管理をしていたのか。現在を含めて、異物混入後管理が変わったのであれば、どのように改善されたのか。

**答** 契約書や仕様書の中で、器具ごとに行う日常の点検業務、あるいは清掃・消毒等の作業等を定め、文書化したものに基づいて行っています。

**問** 生活保護費について、労働意

欲を持たせるための施策は。

**答** 就労指導については、平成19年度においては、専門の職員を配置していませんでしたので、ケースを抱えながらの指導でした。十分ではありませんでした。平成20年度からは、非常勤ではありますが、専門的就労指導員を配置しています。

**問** 生活保護の基準に違反した場合の確認はだれが行っているのか。

**答** 生活保護の受給開始時点で、本人が届け出なければならぬ事項等について説明を行っており、一義的には本人からの申し出るに、大事にするように、国から指導を受けています。



幡羅小学校

## 市民環境産業委員会

委員長 宇多村春恵  
副委員長 馬場茂子  
委員 間久美、江原一夫、新井秀信、小田島政彦、松岡吉彦

**問** シルバー人材センターの今後の見通しは。

**答** 高齢化社会の進行に伴い受け皿として充実を図ってまいります。

**問** 高品質堆肥製造施設について、コストがかなり過ぎではないか。

**答** 支出総額の46%が修繕料となっており、

**問** 砂ぼこり対策の今後の取り組みは。

**答** 抜本的対策の必要性を認識しておりますので、地域と一体となつて対応してまいります。

**問** 人間ドック助成事業で75歳以上の方はいたか。

**答** 13名おりました。

**問** ダイオキシンの対策事業で費用対効果を考慮した規模の変更を検討しているのか。

**答** 調査箇所を減らすなど事業内容について検討しております。

**請願第12号** 協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定を求め



深丘園仮設管理棟

る意見書提出を求める請願

**意見** 協同組合に参加するすべての組合員が協同で出資・経営・働く形をとっており、新しい形の労働形態が増えることはよいことである。本請願は採択すべきものと考えている。

**請願第14号** 太陽光発電システム

のさらなる普及促進を求める意見書提出への請願

**意見** 天然資源に乏しい日本にとって化石燃料によらない新エネルギーの導入普及は、地球温暖化防止問題にも真剣に取り組むものである。

本請願は採択すべきものと考えている。

## 建設委員会

委員長 重雄 勝朗  
副委員長 柴崎 由三  
委員 小川 眞一郎、富田 上村、倉上 本野、今橋 飯野、永野 飯野

**問** 住環境ユニバーサルデザイン促進事業の助成金交付件数は、年間150件を目標にしていたが、実際は118件であった。目標に達しなかった原因はどうか。

**答** これは、市民からの申請に基づき、審査し、助成金を交付する事業であるため、想定件数と実際の件数に差が出てまいります。今回目標値に達しなかったのは、市民の需要がそこまでなかったためです。年2回、広報を通じチラシ等を毎戸配布したり、市ホームページやモバイルサイトに掲載するなどPRに努めてきましたが、今後多くの方々から制度を利用いただくための手法を考えていきます。

**問** レンガのまちづくり事業は順調に進んでいるのか。

**答** この事業は、レンガ等を使用した建築物の建築主に、奨励金を交付することでレンガのまちづくりを推進するものです。平成8年から今まで申請が40件あり、この

うち32件を指定しました。しかし、外壁にレンガ等を使用することは個人の好みの問題であるため指定建築物は市内に点在しており、まだまだ街並みの形になっていません。今後PRに努めていきます。

**問** 平成20年度公共下水道事業補正予算で歳入の受益者負担金の増額補正の理由はどうか。

**答** 受益者負担金を1年一括または5年一括で納付した場合、報償金が支払われます。一括納付の希望をとったところ、想定よりも多かったため、その分を増額させていただくものです。なお歳出の総務費一般管理費で一括納付に対する報償

金160万6千円を追加させていただきます。



青淵公園

「議会あれこれ」委員会ってなあに？

…議会が地方公共団体の事務に関する調査や議案等の審査を行わせるため、条例で常設している委員会のことをいいます。